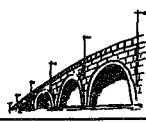


人口 484,446人 (-179)  
 男 235,271人 (-88)  
 女 249,175人 (-91)  
 世帯数 176,183 (-66)  
 住民基本台帳による。( )は前月比

平成8年  
 3月17日  
 第1516号

# にいがた



発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 千951 編集 総務部広報課  
 学校町通1-602-1 印刷 鶴第一印刷所

## “環境保全の基本理念”を答申 豊かな自然を次代に



長谷川市長に答申書を手渡す山本正治会長(右)

市環境基本条例(仮称)に盛り込むべき環境保全の基本理念や、基本的施策など審議を進めてきた市環境審議会(山本正治会長、新潟大学医学部教授)は、二月二十九日、審議結果を取りまとめた長谷川市長に答申しました。

市環境基本条例は、環境を次代へ引き継がねばならないと述べた後、これからの課題と環境影響評価の公害防止条例など環境制度、市民参画のための手続的関係の各条例のよりどころとなる条例です。

答申の席上、山本会長は「水の新潟の豊かな自然を重し、環境基本条例を六月

### 市連合婦人会



真剣な討議が交わされた懇談会

### 長谷川市長と懇談 いじめ・環境問題で意見交換

市連合婦人会(吉田綾子会長)は、いじめ問題の解消と環境問題をテーマに、二月二十九日長谷川市長との懇談会を開催しました。

懇談では市連合婦人会の出席者から、いじめにあって子が親には話せず、おばあちゃんの問い掛けにやっとならざるという例を挙げ、と答えたという例を挙げ、「家族や地域社会が悩みを共有することが必要」と解消の努力を話しました。

長谷川市長は「地域の中で、子どもも集団活動を活躍にしたり、大人と子どもとのための料理教室を催したり、市立幼稚園を公開し、

意見や反映させる措置が市環境審議会の意見の聴取に答えてきました。

答申の内容では基本的な理念として、良好な環境を次代に引き継ぐことを基本に、「自然と人間との共生の下で環境の保全に関する行動により、環境への負担の少ない持続的発展が可能な社会が構築されるようにしなければならぬ」という考え方を示しています。

資源やエネルギーの循環的利用を

児童相談を開始したりとさまざまな試みを行っている。新年度からは鳥見浜に、キャンプ場を備えた青少年海の家の整備を始めたい」と話しました。

同会は、市内十七地区の婦人会の集まり。平成六年から高齢化問題を議題に市長との懇談会を開いてきました。また、同会はこの減量化に取り組んでおり、昨年一月の消費生活展では廃油けんを配布するのと、環境問題への関心を問うアンケートの結果が報告されました。

### 国民年金

#### 学生・自営業の人など 就職したら届け出を

学生や自営業者、無職の人などその配偶者で国民年金に加入している人が、就職して厚生年金や共済組合に加入すると、第一号被保険者から第二号被保険者へ種別変更の届け出をしなければなりません。

届け出は、本人が住民登録してある市区町村の年金担当窓口で行います。忘れずに届け出てください。

四月以降は、新たに不用品登録センター業務として、東清掃センターわきにオープンする市資源再生センターで、同様に不用品の仲介をします。引き続きご利用ください。

問い合わせ先 市消費生活センター(市内線2412番) 市資源再生センター(下木戸三三四一、四月二日から月曜休館27013009)へ

### 平成7年分所得証明書

発行は6月から

市税証明書は、市民税課と地区事務所が発行しています。平成七年分の所得証明書は、課税額が決定する六月十四日から発行となります。

給与所得者で市・県民税の全額を給与から毎月差し引かれる人は、五月十三日から発行します。なお、連給の場合は発行しません。

問い合わせ先 市民税課(市内線23327番) 地区事務所へ

活センターの不用品登録センターが三月二十九日終了します。

四月以降は、新たに不用品リサイクル事業として、東清掃センターわきにオープンする市資源再生センターで、同様に不用品の仲介をします。引き続きご利用ください。

問い合わせ先 市消費生活センター(市内線2412番) 市資源再生センター(下木戸三三四一、四月二日から月曜休館27013009)へ

### 市役所・市教育委員会

☎228-1000 (代表)

テニスガーデンにいがた...276-8900  
 園芸センター...286-1034  
 水道局...266-9311  
 市民保健所...241-5151  
 市東保健院...243-5311  
 石山地区保健センター...286-4450  
 鳥見野地区保健センター...286-2373  
 北地区保健センター...259-7332  
 西地区保健センター...262-3405  
 坂井輪地区保健センター...260-3255

【急患診療(市医師会・県歯科医師会)】  
 急患診療センター...228-2822  
 休日歯科診療センター...283-3030

### 急患診療

◎内科・小児科  
 ◎歯科

◎内科・小児科  
 日曜・祝日 午前9時～午後11時半  
 土曜日 午後2時～11時半  
 平日 午後7時～11時半  
 市医師会急患診療センター  
 白山通2-180-5  
 ※ほかの診療科も紹介

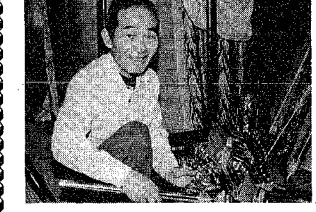
◎歯科  
 日曜・祝日 午前10時～午後5時  
 県歯科医師会  
 休日歯科診療センター  
 堀之内南3-8-13

☎228-2822  
 ☎283-3030

保険証を忘れずに

## 筋道

仏壇塗師 結城光夫さん (65歳、赤坂町2)



昭和二十二年、仏壇塗師だった父勇吉さんに師事。以来五十年近く仏壇製作に携わる。市仏壇塗師協同組合理事長を勤め、後進の育成にも尽力。

「米ができるまで七八八を染み込ませます。漆が乗る手間がかかるように、塗りやすいように紙で研ぎ、中塗り、上塗りと何度か手をかけます。すべすべは次の作業をしやすくするため」と表情が引き締まります。

昭和二十二年から父の元で修行し、昭和四十二年に独立。昔は市内に十人以上いた塗師も今は三人だけ。成されました。

「仏壇はお客の仏様に対する思いを酌みながら作るもの。結城さんはいつとも木地に塗り、防腐のため使う人の気持を大切に、漆桶の実から採取した液に

お客の思いを塗り込む

ばくち張、飾り金具を付け最後の組み立てまでが仕事。つまり仏壇はここで完了。